

「男らしさ、女らしさ」の壁

「ジェンダー」とは、生物学的な性差である「セックス」に対し、社会的、文化的に形成された男女の違いのことをいいます。このジェンダーに関連して、取り上げられるのが個人の能力によって役割分担を決めることが適当であるにも関わらず、性別を理由として、役割を固定的に分けるという問題です。よく、「男は仕事、女は家庭」といわれてきましたが、優しくて細やかな心遣いができ、家事が得意な男性もいれば、強い意志を持ち、リーダーシップを発揮して良い仕事をする女性もいます。

この個性や能力を「男性らしさ、女性らしさ」の壁に阻まれて、活かせなかったり、評価してもらえなかったりしたら…。女性だから男性だからではなく、一人の人間として、できることと、できないことがあると考えることが大切です。ただ、このような意識は環境や教育などで根付いたものなので、すぐに改めることは難しいかもしれません。まずは、ジェンダーの型にはめて人を評価したり、強要したりしていか意識することから始めましょう。